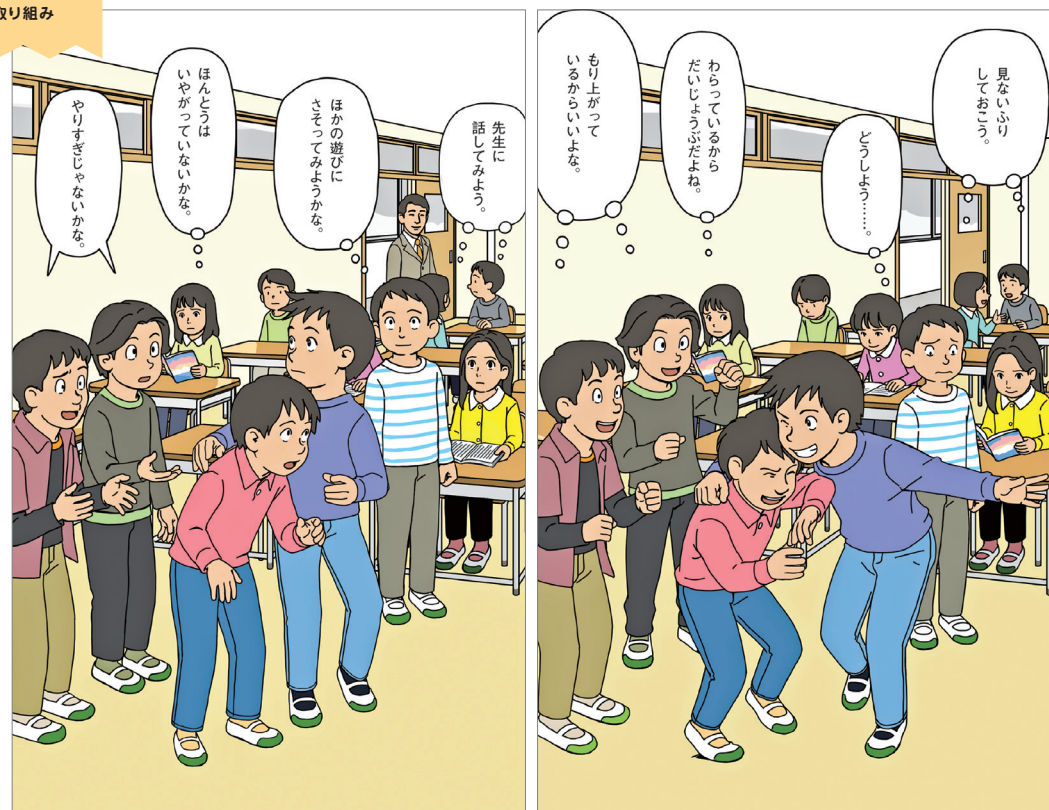


2

現代的課題への取り組み



4年p.42～43「いじめに「NO」の空気をつくる」

3 つながる・広がる

コラム「つながる・広がる」では、いじめの四層構造\*を踏まえて、自分にできることを考えます。

\*いじめには「加害者」「被害者」「観衆」「傍観者」が関わっているという見方。



4年p.44～47「となりのせき」

4 間接的教材

2つ目の教材は、いじめの防止について間接的に考える教材です。席替えでの出来事から、公正、公平、社会正義について考え、「いじめをしない、許さない心」を育みます。

1

とびらページ

さまざまな表情の子どもが描かれたイラストと、「『いじめ』について、考えよう」という言葉から、いじめ問題への意識を高めます。



4年p.37「いじめについて、考えよう」



4年p.38～41「いっしょになって、わらっちゃだめだ」

2 直接的教材

1つ目の教材は、いじめを直接的に扱った教材です。「傍観者」だった「ぼく」の行動から、善悪の判断について考えます。

いじめの場面を直接的に扱う教材と、関連する価値から間接的に考える教材を組み合わせ、いじめユニット。教材を支え、子どもたちの視野を広げるコラムも充実させました。

いじめの防止は、ていねいに繰り返し  
大切な問題は、さまざまな角度・視点で。



# いじめ防止に関わる3つの「ユニット」

3つのユニットは全学年同じ時期に配当し、学校全体でいじめ問題に向き合うことができるよう工夫しました。いじめ防止週間や人権週間などに合わせて扱うこともできます。

※1年生の「いじめ（いじめの防止）ユニット」は、発達の段階を考慮し、10月に配当しています。

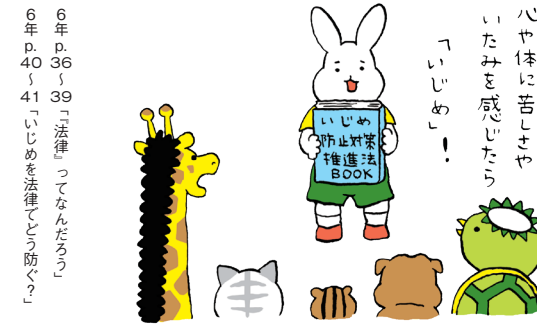
「つながる・広がる」は、他教科等の学習活動や、家庭や地域での活動で活用することができます。

いじめ防止に関わるユニットには扉を設けています。

「教材」と、コラム「つながる・広がる」を組み合わせ、「ユニット」を編成しました。

つながる・広がる	教材	とびらページ	
			<b>いじめ</b> (いじめの防止) 4年 p.37～47 いじめの防止について多面的・多角的に考えを深めます。 ※学級集団が形成され、いじめの報告が増える六月に配当。
			<b>いのち</b> (生命尊重) 4年 p.63～68 生命の尊さについて、多面的・多角的に考えを深めます。 ※子どもの自殺件数が増える九月に配当。
			<b>じぶん</b> (自己肯定感) 4年 p.125～131 個人やグループでの活動を通して、自分のよさや可能性を見つめます。 ※年が改まり、自分を見つめる機会が増える一月に配当。

コラム「つながる・広がる」では、いじめに関して全ての人に知っておいてほしい知識を紹介しています。



6年 p.40～41 「いじめを法律でどう防ぐ？」  
6年 p.36～39 「法律ってなんだろう」

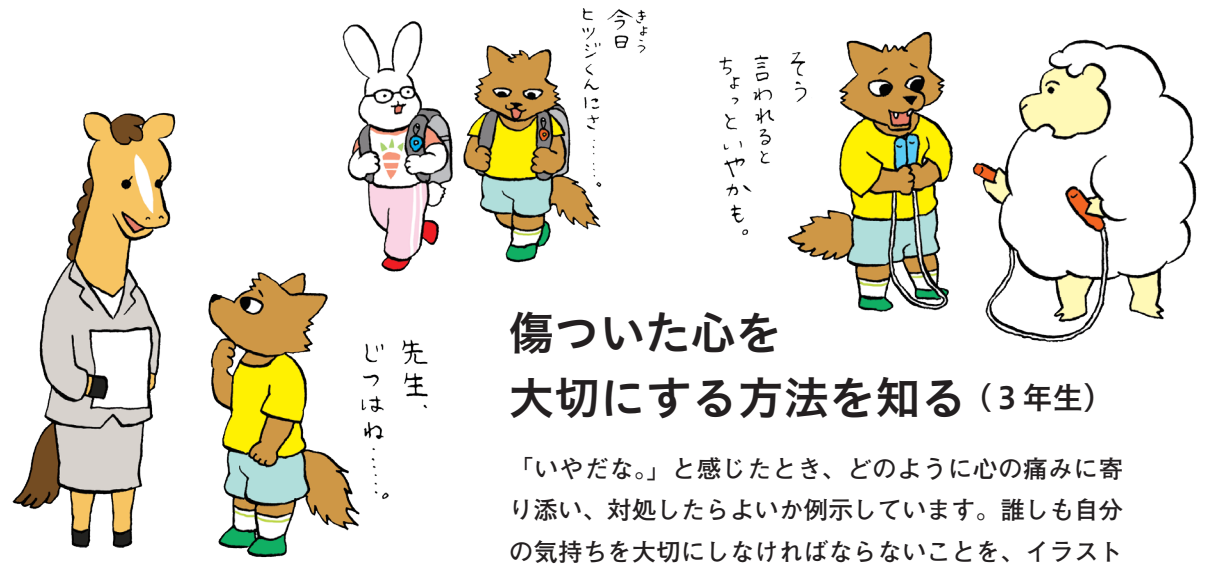


## いじめの防止のために、法律にできること（6年生）

「こども六法」の著者である山崎聡一郎さんからのメッセージとともに、いじめ防止対策推進法を扱います。法律を使っていじめを防止するためには、どんなことが大切なのかを考えます。



山崎聡一郎さん



3年p.47「いやだな。」と思ったら」

## 傷ついた心を大切にする方法を知る（3年生）

「いやだな。」と感じたとき、どのように心の痛みに寄り添い、対処したらよいか例示しています。誰も自分の気持ちを大切にしなければならないことを、イラストから考えます。

いじめに関するコラムの作成にあたっては、須永祐慈様（NPO法人ストップいじめ！ナビ）に監修していただきました。

大切な問題は、さまざまな角度・視点で。